



# 犬岩清掃・見学会

# 犬岩清掃・見学会

参加者は39名を数え、小学生や、大学生もゴミ拾いに参加していまし  
た。最近は定期的な清掃で、ゴミは少なくなりつ  
ります。

午前10時からは無料の現地見学会を実施しました。  
千葉科学大の銚子学の授業の一環で、学生48名が参加、認定ガイドの説明を熱心に聞いていました。途中で心配



銚子空襲  
軍事機密だつた気象情報

の方がお見えになりました。  
次回は7月16日(日)午前9時より屏風ヶ浦を予定しています。ご協力よろしくお願ひします。

(昭和20)年、銚子も米軍機によつて空襲されたんだつて? 覚えているかね。

隠居… 72年も前の話だよ、わたしや立派な戦後派、団塊世代だよ(笑)

銚子の街は3回空襲を受けたようだが、7月19日の深夜から20日未明にかけての空襲が最大の被害で、銚子測候所(現在の銚子地方気象台)も全焼した。熊…えつ?

測候所が空襲されて全焼したの? 隠居…今でも戦争の際は、気象状況の把握は欠かせない情報であり、敵方には知られたくない情報もあるんだ。例えば湾岸戦争の際は中東方面からの気象観測報がパツタリと途絶え、中東は一時期気象データーの空城となつたこ

。 ともある。空襲当時の測候所は戦争遂行上、今以上に重要な施設だったんだろうね、きっと。  
隠居…なるほど。  
太平洋戦争が始まつた1941(昭和16)年12月8日から終戦の1945(昭和20)年8月下旬まで、天気予報や台風情報などは「軍事機密」として扱われ、国民に知られることはなかつた。このため戦時中に襲来した数回の台風で、なんらの情報も知らないままに多くの国民が災禍に巻き込まれ、合わせて約2500人の犠牲者が出了んだよ。熊本…そうかく、  
平和な今、気象情報をお多様な手段で情報は「平和のシンボル」なんだね。隠居…そうなんだよ。戦時の悲

しい歴史を顧みれば、最近、急速に発達する低気圧のこと、「爆弾低気圧」、局所的な大雨を「ゲリラ豪雨」と呼んでいる気象予報士も居るが、「爆弾」や「ゲリラ」といった戦争用語は気象情報に似つかわしくないね。熊平和のシンボルらしい言い方をしてほしいね。

(補足)

銃子空襲の5時間前の天気図(昭和20年7月19日18時)を眺めてみますと、台風が九州に接近しつつあり、南岸には梅雨前線。銃子は中層の雲に覆われ、オホーツク海高気圧からの北風が強く吹く中、空襲され大きな火災となつたようです。米軍は強風を予測、利用して空襲したんでしょうかね?